

最優秀賞

木質化部門

高山市新宮小学校

施主:高山市

設計者:有限会社 小林建築設計事務所

施工者:堀口・林特定建設工事共同企業体



昇降口

○施設の概要

- ・子どもたちに木材について知ってもらうために、地元で育つ木材を利用し、質感・色味・樹種を目で見て手で触れられる小学校を目指しました。
- ・自然の中の柔らかさや、自然の中で生まれる陰影、木漏れ日を感じられるような空間を目指し、天井や壁にルーバー・格子などを取り入れたデザインを取り入れました。



教室

○県産材利用や地域活性化等に対する取り組み

- ・サイン看板に地域産業の飛騨春慶塗を施し、伝統工芸に触れることの出来る工夫を行いました。
- ・地元業者で製造している圧縮杉のフローリング、珪藻土の塗壁を採用し、地域経済の活性化に取り組みました。
- ・省エネ・持続可能なエネルギーなどに興味を持ってもらえるような環境パネルを設置しました。

○建築物（木質化）の基本情報

- ・施設用途 小学校
- ・住所 高山市新宮町2635-2
- ・竣工 昭和44年12月
- ・木質化完了年月日 令和3年3月
- ・延べ床面積 5,271.96㎡
- ・階数 3階
- ・県産材使用量 101.19㎡



廊下

○アピールポイント

- ・昇降口の壁に市内で自生しているいろいろな樹種を組み合わせた乱張りのデザイン壁を設けました。
- ・児童の利用する廊下には、木造校舎で造られているような空間とするため、大黒柱をイメージした化粧柱を設けました。
- ・教室・図書館・音楽室などの特別教室では木材の仕上げデザインを変え、それぞれ違ったイメージを持った空間を設けました。



乱張り壁



春慶塗サイン